

# 雌阿寒岳

## 1 概況

**火山活動は引き続きやや活発な状態が続いています。**

地震活動は静穏な状態で経過しました。ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動はやや弱い状態が続いていますが、火口温度は高温の状態が続いています。

## 2 噴煙活動の状況

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、噴煙高度は概ね 100～200m で経過しました。噴煙活動は 2000 年以降やや低下した状態が続いています。

## 3 地震活動の状況

地震回数は 11 月 3 日に一時的に 10 回発生した他は、1 日あたり 0～2 回と低調なレベルで推移しました。地震はほとんどが高周波地震で、震源はポンマチネシリ火口浅部と推定されます。火山性微動は本年 2 月以降観測されていません。

月別地震・微動回数 (B 点)

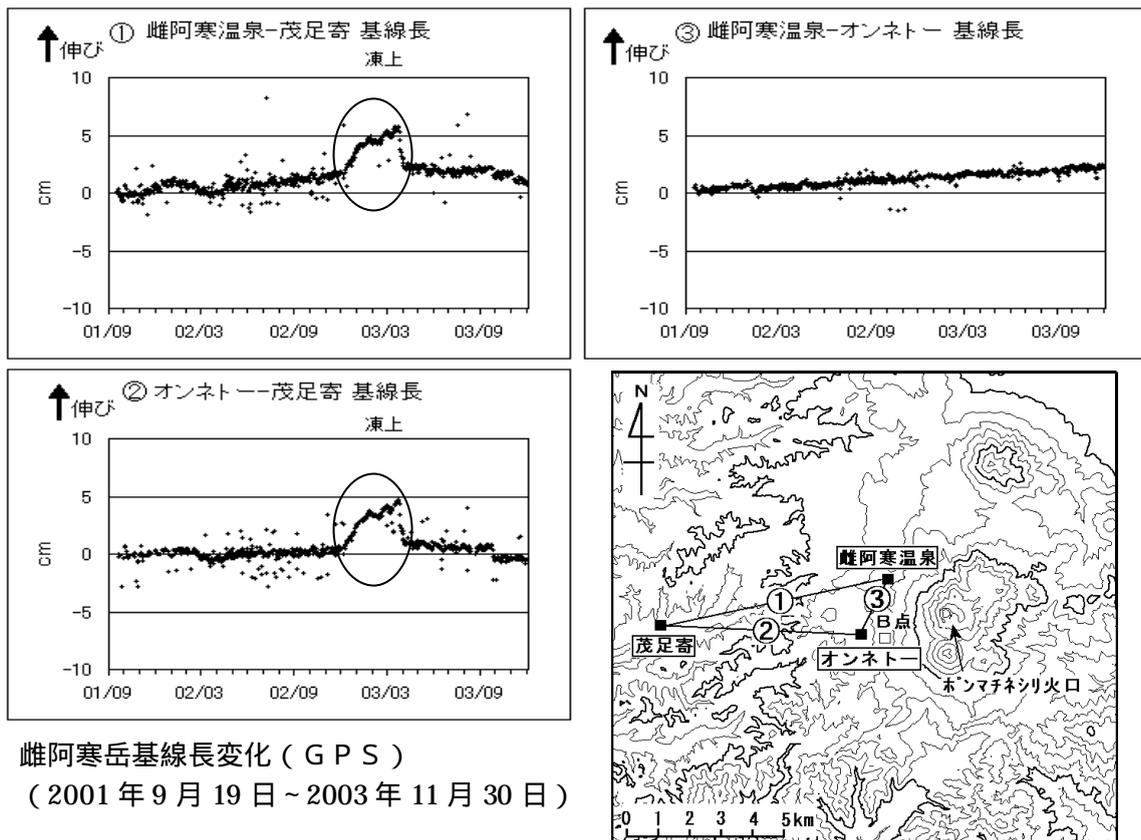
2002～2003 年	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
地震回数	39	204	83	223	375	163	155	113	195	156	352	19
微動回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 4 火口温度の状況

北海道立地質研究所が 11～13 日に実施した観測によると、ポンマチネシリ 96-1 火口の温度は約 400 と依然温度の高い状態が続いていることが確認されました。その他の火口には特段の変化は見られませんでした。

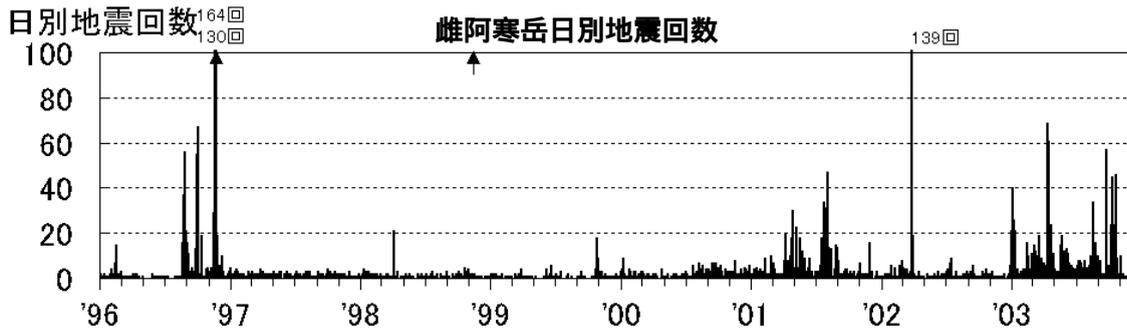
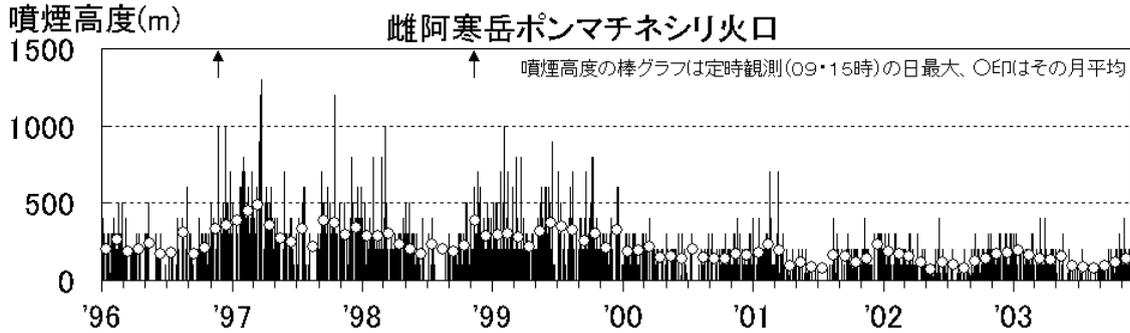
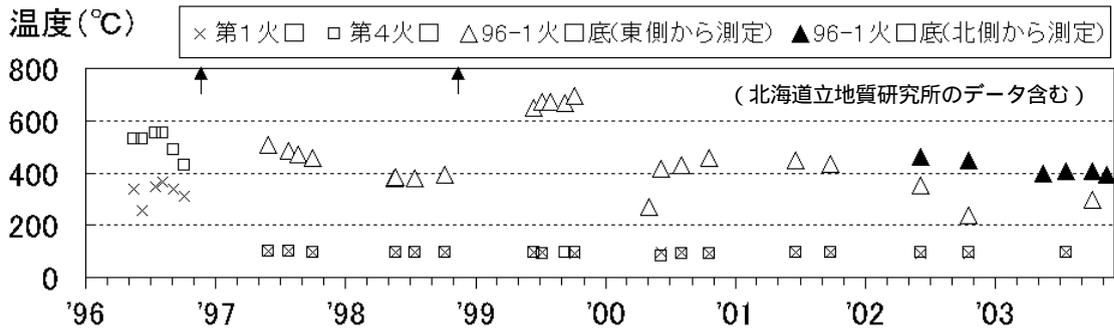
## 5 地殻変動の状況

地殻変動は長期的に見てやや伸びの傾向が続いていますが、火山活動との関連については今後の推移を見て判断する必要があります。

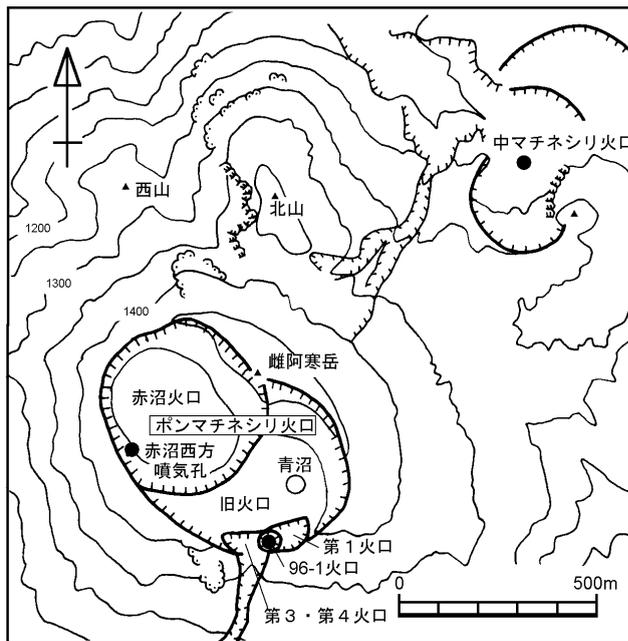


雌阿寒岳基線長変化 (GPS)  
(2001 年 9 月 19 日～2003 年 11 月 30 日)

雌阿寒岳ポンマチネシリ火口



雌阿寒岳火山活動経過図(日別、1996年1月1日~2003年11月30日) 印は噴火



雌阿寒岳火口周辺図